

【12月3日福島県議会開会日 大人の社会科見学ツアー】～新しい挑戦が人生をいきいきさせてくれる～

生涯学習コーディネーター 伊達マリコ

11月21日、空は青く銀杏並木の葉っぱが金色に輝いている。私は仙台駅から歩いて20分の宮城県庁に行き、議会傍聴をしてきた。とても楽しかったので、その様子を河北新報に投稿したら、なんと12月3日「声の交差点」に掲載された。

毎月2回ペースで各新聞に投稿している。掲載されると「読んだよ！頑張っているね」と、周囲の人から励ましを受け、より一層頑張ろうと思う。そう考えると議会傍聴は、議員さんの頑張っている姿を直接見て、エールを送れる場所であるのかもしれない。

12月3日福島県議会開会日に、私が企画した【大人の社会科見学 福島県庁議会傍聴ツアー】を行った。

申し込み者は、「和文化の会」の素敵なお着物姿のメンバー11名と飯館村議会議員の横山秀人さん。そして、芸能事務所社長で、歌と踊りの芸能活動をしている「完熟ピーチ」の小山タ子さんだ。今まで何度も傍聴案内をしてきたが、今回は人数が多い。県庁の関係各所をお願いして、いろいろ準備してきた。

今回工夫した点①議会食堂に11時20分(本来は11時30分)に入室許可をもらうこと。混む前の、12時までには昼食を終えること②傍聴者氏名と住所記入、駐車券処理③議員全員の顔が分かる資料配布④「若い議員さんの話が聞きたい」という要望あったので、前もって大橋沙織議員と山口洋太議員にお願いしておく⑤傍聴席での注意事項の説明⑥廊下は静かに歩くこと(大声でおしゃべりしない)……。そうそう、写真撮影の許可申請を初めてした。結果OKとなった。あくまで議会傍聴の広報のためである。

議会食堂では美味しいメニューがたくさんある。一般の人でも利用できるのありがたい。食券機あたりに議員さんも顔出すので、挨拶するには絶好の場所だ。長尾議員もわざわざ私達のところへいらして挨拶して下さった。

議会開会は1時。本庁舎5階傍聴席で静かに待つ。今回の12月議会は、永年表彰の時間があった。神山議員、古市議員、先崎議員おめでとうございます。

次に、内堀知事の所信表明。その中で、私の記憶に残ったのは、西田敏行さんと義足で走った男の子の話だ。

素朴で温かい人柄、皆んなに愛された西田敏行さんは、私の誕生日が同じ11月4日なのだ。

議会では、人口減少が毎回議題に上がる。でもまずは、現在福島に住んでいる老若男女それぞれが、自分の得意分野を活かして、キラキラ輝いて今を生きて欲しいと願っている。

大学時代を仙台で過ごした私。一度は地元を離れるのも悪くない。去る者は追わず、来る者はウェルカム！で暖かく歓迎したい。

さて、今回の大人の社会科見学恒例のオフ会...参加者一人ひとりがどんな感想を持ったか自由に語れるこの時間は、皆んなの顔がハツラツとしている。

飯館村会議員の横山さんは、議会全体の感想に加え、「飯館村に、道の駅までい館に、是非おいで下さい」と、村のPRをした。

小山タ子さんは「今日は楽しく見学できました。また参加したいです」と。そして、東京に行かなくも芸能活動ができることや大道芸能のイベント、完熟ピーチの話をした。

「和文化の会」の皆さんは、お着物を着て県庁内を歩き、さぞかしお疲れになったと思うのだが、着物を着る機会のない人にとって、つい目で追ってしまうほど魅力的だった。私のように普段着で毎回県議会傍聴に来て何も問題ないのだが、お着物やオシャレをして県議会の傍聴をするのも素敵なことだ。

最後に私の願いを一言。県庁や年4回開催される県議会をもっと身近に感じて欲しいということだ。山口洋太議員も意見交換会の中で「一般の人からも是非発信して欲しい」と言っていた。

これからの社会は、「誰かが上手くやってくれるだろうとただ待っているだけでなく、自ら行動することが大切だ。議員さんとも気軽に話し、困ったことがあったら役所に相談に行く。その延長線上に選挙がある、と私は考えている。

インターネットで議会中継はされているが、まずはその場に行ってみることをオススメする。きっと何かしら感じ、学びがあるに違いない。